



一度は仮組みし、ボディに取り付ける部分(ボルト留め)の位置を決め、ポンチでフロアなどに穴を開ける部分をマーキング。そしてそこに、付属のボルトの径に合わせた大きさの穴をドリルで開けていく。

今回の作業内容をチェック!



取り付けの一步めは、基本となるクルマのセンター部分の部品の取り付けをやる。コイツを軸に前後のバーを取り付けることになる。



シートや内装の一部を外し、こんな状態にして作業を始める。



次にフロント部分の取り付け。



この部分はシートベルトの取り付け部分と共締めし、Bピラーに固定。こうすることで、ボディにもより剛性を持たせることができるんだ。



今度はリヤだ。ショックの取り付け部分に近いところに足をもってきて、ここでも剛性を高めるようにしている。



完成!



最後に残行ハを取り付けて完成だ。さあ、お楽しみだ。ボディーの下側に板を当ててボディをサニタイズする。このように取り付ける。



シートを取り付ければOK。左右ともシートをつけることになる。ギリギリのスペースでうまく収まっているのがわかるでしょ。



フロントのハーブのパーツとくれば、どこからでも見てクワンタムの車高調整してホンノだから。



これを見て♡

キヤ〜ッ ちょお〜うカッコイイクワンタムの足が入ったゾ!

テリオスで本格的スポーツ走行をこなせるようなサスはおそらくこれだけであろう。フロントはヘルパースプリング付き。リヤはケースを流用しているためネジが切っただけ、べつに車高調というわけではない。しかし、正直なところ、クワンタムでもKカー用の足は作ったことがないということ、最終的な完成までには何度もテストする必要があるだろう。

おおよ車重などから割り出した数値での設定となっているが、実際の挙動がどうなるのか実際に走行してみないとわからないような状況なのだ。

いや〜、いよいよ走れるとなると、気分的にはいやおうなく盛り上がりすぎてしまう!が、とりあえず安全な場所一つ〜ここで、今回はサーキットに行ってみよう。

次号、サーキット走行テストに期待だ!!



こんなん入るとめっちゃカッコえやんか!

あっちゃこっちゃ

前はワンオフでのロールケージ製作の現場を訪れてみたわけだけど、いよいよ完成品が出来上がり、今回はその組み付けから完成までをレポートしてみよう。しかし、これがまたどうして、バケットシートもあいまって、Kカーだからってこれがばかにできないカッコよさになってしまったゾ!

黒い棒をとつないだらロールケージがばっちりキマッたぜ!



テリオスに入れるロールケージの部品点数は7点。塗装は粉体塗装というやりかただ。これは塗料(ウレタン系の粉)をパイプに静電気で均一に付着させ、熱で溶かして塗装するもの。ムラが出ずツルツルとしたキレイな仕上がりになるのだ。また、乗員の頭部の保護をするために頭に当たりそうなる箇所にはパットも巻いているゾ。



完成です!これでバッチリキマッますヨ!

オクヤマレーシングパーツ・奥山サン



ロールケージの取り付けは、かなり大変な作業。が、すいすい進んでいくのが嬉しい。バッチリキマッますヨ!

さてさて、このテリオス、なにせ元がRV車だけに、とことんチューンアップしてガンガン走りまわれるようにしようと言っても、なかなかパーツがないのが実情だ。なので、ひとつひとつテストしながら合うものを作っていくかなくてはならない。

で、1.3&エンジンをシャシーが共通の兄貴分のテリオスから頂戴したんだけど、速くなるぶん、実際走ったときにこの背の高さってのはけっこうコーナーでコケたりしそうで怖いじゃん? そこでロールケージを専門ショップ・オクヤマで作ってもらったついでに。

前回では形を作るまでだったけど、それがいよいよ塗装も終えて完成品となった。

今回はソイツをちゃんと組み付ける工程と、いよいよクワンタムのサスペンションの試作が出来上がったので、その紹介をしようとしてみよう。



隙間の少ない作りが気に入ってます!



トライアルメカニック・秋下サン